

## 平成30年度第1回木津川市文化財保護審議会 議事録抄録

- 1 日 時 平成30年7月30日（月）13時30分～15時30分
- 2 場 所 木津川市役所4階 会議室4-1・4-2
- 3 出席者 委 員 白石太一郎、伊東史朗、源城政好、増井正哉、浦本幹男  
炭本 武、大山順子、中津川敬朗、田辺英夫  
事務局 森永教育長、肥後文化財保護課長、文化財保護課職員4名

### 4 教育長あいさつ

### 5 議事

#### ● 報告事項

##### ① 大阪北部地震及び西日本豪雨による市内文化財の被害状況について

事務局から、先の大阪北部地震及び西日本豪雨により、海住山寺五重塔相輪の風鐸の落下、海住山寺五重塔基壇南側法面の亀裂、小林家住宅の北側軒先漆喰の剥落、海住山寺稻荷社の屋根瓦のずれ、神童寺蔵役行者像の手首部分の脱落、海住山寺寺墓の十三重石塔の相輪落下及び板碑の倒壊、海住山寺の防災道路の法面崩落が生じたことを報告した。

##### ② 平成30年度事業計画について

事務局から、平成30年度事業について、指定等文化財修理等補助事業、高麗寺跡史跡整備事業、史跡公有化事業、市内遺跡発掘調査事業、埋蔵文化財活用事業、歴史文化基本構想策定事業、地域の文化財資料調査活用事業、文化財展示事業、普及啓発事業について説明した。

##### ③ 平成29年度京都府指定文化財並びに暫定登録文化財について

事務局から、新たに京都府指定文化財に指定された文化財と、当該年度第2回・第3回登録の暫定登録文化財について紹介した。

京都府指定文化財（平成30年3月23日指定）

- ・ 建造物2件：岡田鴨神社本殿及び摂社天満宮、末社金刀比羅神社本殿、天王神社本殿
- ・ 考古資料1件：埴輪（上人ヶ平古墳群・上人ヶ平埴輪窯跡群出土）

京都府暫定登録文化財（平成29年11月17日、平成30年3月23日登録）

- ・ 古文書4件：海住山寺文書、鹿背山区有文書、観音寺区有文書、三十八神社棟札類
- ・ 史跡名勝1件：岩船寺境内
- ・ 史跡1件：神童寺境内

- ・考古資料7件：灰釉羊硯 樋ノ口遺跡出土、土師器 砂原山古墳出土  
鉄板 西山古墓出土、甲冑形埴輪 瓦谷遺跡2号埴輪窯出土  
変形四首鏡 瓦谷古墳第2主体部出土  
六獣形鏡 内田山B1号墳出土、三彩小壺 樋ノ口遺跡出土

(主な質疑)

- ・市所有の考古資料はどこで見られるか、またどこに保存しているかという問いに対し、樋ノ口遺跡出土品と瓦谷遺跡2号埴輪窯出土品は山城郷土資料館に貸出中であり、それ以外は山城文化財倉庫で保管していると回答した。

#### ④ 文化財保護法の改正について

事務局から、文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の概要について説明した。

(主な質疑)

- ・都道府県の大綱を勘案してから市町村が策定するのかという問いに対し、京都府の大綱が先に完成した場合、市はそれに合わせてすり合せが必要と回答した。

#### ⑤ 木津川市歴史文化基本構想策定事業の着手について

事務局から、木津川市歴史文化基本構想策定事業における事前調査・悉皆調査は山城町から取り組み始めたこと、今年度は山城町と加茂町の一部、来年度は加茂町内、再来年度は木津町内の文化財を調査し、併せて関係各課と連携しながら策定に取り組むことを説明した。保護法の改定に伴い、策定市町村に対しては国が積極的に補助をする。構想を基に地域計画を作成したら積極的に国が補助を行うというメリットがある。

審議員から、既存の文化財のカテゴリーや調査結果に基いた調査を行うだけではなく、地域が大事にしてきたものを含め新たな価値を発掘し、評価することが求められること、また事業内容を地域と情報共有することも必要であるという意見があった。さらに、総合計画に掲げる「水と緑と歴史が薫る」のように、本構想を策定する前提となるような基本的な理念（地域と包括する共通理念）を設定してはどうかという意見もあった。

(主な質疑)

- ・策定時には関係課や専門委員だけでなく愛護団体や木津川アート関係者など地域の歴史文化を学ぶ人たちも取り込むのはどうか、また広く地域の歴史文化を学ぶ人たちとの意見交換の場を設けるのはどうかという問いに対し、策定委員の構成範囲を広げるのは難しい問題もあるが、地域も巻き込みながら進めて行きたいと回答した。

次回の審議会は、年末もしくは年度末に開催することを案内して終了閉会した。